



平成29年度

第1回SGH連絡会指定校報告（分科会）

「女性活躍」 についての探究学習プログラム等 の実践報告

～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

埼玉県立浦和第一女子高等学校

本日のスピーカー：板谷大介（本校国語科教諭）

平成29年6月16日（金）

16：40～17：50

筑波大学東京キャンパス文京校舎にて

埼玉県立浦和第一女子高等学校について

- ▶ 明治33年創立。
- ▶ 生徒数1,175名。
- ▶ 埼玉県には、男子校の県立浦和高等学校もあり、

「浦高（うらこう）・一女（いちじょ）」

と両校並び称され、共に**県内随一の進学校**と位置づけられている。

- ▶ 平成28年度の主な進学実績 **東京大学4名**、一橋大学4名、など。
- ▶ 平成16年より**SSH**の指定も受け続けている。
- ▶ 目指す学校像「**世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校**」
- ▶ **学校行事や部活動**もきわめて盛んで、勉強だけに偏らない全人的教育を実施。もちろん行事・部活動と勉強は「**両立しかあり得ない**」。

■ 本日の予定

I 本校SGHプログラム概要（これまでの活動報告）

- ▶ 本校SGHプログラムの概要について
- ▶ 「SG探究の時間Ⅰ」（全員対象）
 - 「SG探究講義1」（東京大学の若手研究者等による大学案内）
 - 「SG探究講義2」（株式会社ピープルフォーカスコンサルティング黒田 由貴子氏の講義）
 - 「SG探究講義3」（前大学入試センター教授（現東京大学教授）濱中淳子氏の講義）
 - 知識構成型ジグソー法による「論文の書き方」教室 ※本日、関連資料をお持ち帰りいただけます。
 - 「全校講演会」（WLB大塚紀子氏）
 - 「SG探究論文Ⅰ」（「モデル研究論文」の作成）
 - 「SG探究論文Ⅱ」（「東京大学の男女比」「我が国のWEFジェンダーギャップ指数」等について論文作成）
- ▶ 海外派遣 「台湾FW」「台湾修学旅行」「英国派遣」
- ▶ 「SGHセミナー」（希望者対象）
 - 「台湾リサーチプロジェクト」
 - 「台湾版Cross Cultural Talk」
 - 「10カ国Cross Cultural Talk」
 - オペラ鑑賞教室・歌舞伎等鑑賞教室
 - IC-Net株式会社との連携
 - 「女性トップアスリート等によるセミナー」
- ▶ 教科連携・校外学習
 - 国語科
 - 地歴公民科
 - スピーチコンテスト
 - 校外学習（遠足）
- ▶ その他
 - 現在の活動（「SG探究の時間Ⅱ」等）
 - 成果と課題

II 質疑応答

本校SGHプログラムの概要について

▶ 構想名

「未来のための『女性学』探究プロジェクト」

- 共通テーマ「**女性学**」の探究を軸に、**国際的視野**を持つことで**地球的課題**を発見し、**問題解決能力**の育成を図る。

- 「女性 グローバル・リーダーの育成」に鑑み、

本校の進路指導のコンセプトや

進路指導プログラムとも有機的に結びつける

ことを意識。→東京大学をはじめとする

難関国立大への志望者が現在増加傾向。

「未来のための『女性学』探究プロジェクト」

【課題研究テーマ】

「未来のための『女性学』を軸に、地球的規模での女性問題に関する課題を探究し、日本に備えるべき課題解決プランやビジネス・モデルを提案し行動する」

1年

SG探究の時間Ⅰ (65分×10回)

女性に関する世界の諸課題をはじめとする、グローバル・イシューについて学び、自分の考えを発表する

- SGHセミナー・特別講義
- 海外への選抜生徒派遣・海外生徒の受入
- 全教育活動と連携したSGH活動

「グローバル・イシュー」に対する関心と教養、課題発見・課題解決する力

2年

SG探究の時間Ⅱ (65分×10回)

女性に関する世界の諸課題をはじめとするグローバル・イシュー解決に向けた具体的なプラン・モデルを提案し、海外で行動する

- SGHセミナー・特別講義
- 全生徒を海外に派遣し提案・行動
- 海外生徒と交流・海外生徒の受入

総合的な学力・志・アイデンティティ・実行力

3年

SGプログラム (65分×10回)

教科横断型授業によるグローバル・イシューの俯瞰、生徒の研究成果の世界発信、本校後輩生徒への継承・発展

- 教科横断型授業
- 海外をより身近なものに
- 知識人による講演

女性グローバル・リーダー育成

各教科の授業、総合的な学習の時間、学校行事、部活動等、
全ての教育活動を通して主体的に学ぶ、「グローバル教育」の実践

【全教育活動とSGH活動をつなげる「SG探究の時間Ⅰ・Ⅱ」、「SGプログラム」を実施】

- 外部機関との連携による特別講義
- 知識構成型ジグソー法の実践
- ディベートレッスン・プレゼンテーションレッスン
- SGHセミナー
- 海外へ全生徒を派遣
- 教科横断型授業

世界へ

「SG探究の時間Ⅰ」実施の目標

女性に関する世界の諸課題をはじめとする、
グローバル・イシューについて学び、
自分の考えを発表するための
基礎 を築く

本校の**進路指導のコンセプト**

- 1年「守」：一女生としての**基礎基本**、「**型**」を身につける
- 2年「破」：「一女生としての**型**」を礎に、自分の可能性を追求する
- 3年「離」：今までの学びをもとに、自分の力で走り出す

「S G 探究講義 1」の様子 * 6月に全3回で実施

▶ 東大若手女性研究者を中心とした7つの「特別講義」

東京大学C o R E F 特任助教 齊藤萌木 先生
「賢さ」とは何か



東大大学院工学系建築科修士
増田 文香さん
女性の視点で捉えた工学部
省エネ建築

「S G 探究講義 1」 実施の様子

▶ 東大若手女性研究者を中心とした7つの「特別講義」



農学生命科学科修士 三吉 翔子さん →
進路選択と私の研究（脂肪の代謝）

← 数理科学科修士 信田 萌伽さん
「数学の楽しさ」を伝えたい



← 文学部言語文化学科 須藤 杏奈さん
「言語」と「文化」と「私の選択」



「S G 探究講義 1」 実施の様子

▶ 東大若手女性研究者を中心とした7つの「特別講義」

工学系社会基盤准教授 知花 武佳 先生
良き仲間と共に「知」を総動員して
日本の自然を理解し、人と自然の調和を図ろう



情報学環 助教 河 灵珍 先生
「大学」とは何か「学問」とは何か
(女性として、留学生として)

「SG探求講義2」を実施して

* 1年生全員対象

平成28年11月16日(水) 14時45分~15時50分 体育館にて

株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング

取締役 黒田 由貴子 氏

■生徒の感想より

政策で「一億総活躍社会」が掲げられ、多様化社会という言葉をよく聞くようになった。今回お話しされていた中で私が一番気になったのは、「**ダイバーシティを取り入れる3つの方法**」だった。少し前にスマホのニュースを見たのだが、そこには男性と同じノルマを課され、耐えきれずに身を投げたある女性のことが書かれていた。厳しい残業までが平等のうちに入れているのに、女性の仕事であった家事、子育て、介護は一向に平等化されない。これまで大変だった分を女性に押しつけて多様化社会、平等社会をうたうのは正しいのだろうか、そんなことを考えさせる記事だった。これはまさしく、話されていたなかの「**1. 同化**」であると思う。女性を男性とまったく同じ労働力と考えたために深層性=個性が失われ、生きにくい社会に日本はなっているのかもしれないと思った。「**2. 区別化**」ではついこの間読んだ新書を思い出した。それはイスラムについての話だったが、イスラムでは女性と男性の区別がとてもはっきりしていた。服装などは文化ということでおいておくとして、女性の学校、女性の病院とまで分かれている国もあるそうだ。それをむしろ生かして女性の就業率が高いのだとか。女性は活躍しているが、違和感があるなあと思っていた。

「**3. 融合**」はとても共感できた。一人一人がもつ様々な違いを受け入れ、それぞれを価値として活かすというのは多様化社会の理想的な姿だと思う。

ただ、私には少し理想すぎるように思った。それを社会にどのように広めていくのか、どのように実現されるのか、もっと聞きたいと思った。

SG探求講義3 「親子で学ぶSG講義」を実施して

* 1年生全員および保護者対象 29年1月28日(土) 体育館にて

独立行政法人大学入試センター

研究開発部教授 濱中 淳子 氏

■生徒の感想より

今回のお話の中で特に印象に残ったことは、大きく分けて3つあります。

1つ目は、何歳まで学校に通えばいいのかという、自分自身で学習できるようになるまでであるということです。具体的に言えば、学びどころでアクセルを踏むことができる、知りたいことや解かなくてはならない問題について、どのように行動すればいいのかをイメージできるようになるまでだそうです。そのため、もうすでにこのような能力を持っていれば、学校に行く必要はないのです。

2つ目は、国立大学と私立大学のちがいについてです。**国立大学のメリットとして挙げられることは、経済的に楽であること、教員一人あたりの生徒数**

(ST比)が少ないことなどです。東大や京大には、同じ領域の教員が複数いて、テーマやアプローチが多様な上に、手厚い指導を受けることができるので、安心して過ごすことができるのです。私は、経済面で圧倒的に有利な国立大学を目指したいと思っています。 さらに、国立大学は、一人一人に着目して指導してくださることなので、改めて入学したいと実感しました。

3つ目は、女子における専門職、資格職への考え方についてです。今まで、医者などの専門職につけば収入もよく、結婚や出産を迎えたとしてもまた復帰できるという利点から、むりやり目指そうとしていました。しかし、女性人材の価値をわかってくれる企業もあるのだから、自分のやりたいこと、本当に面白いと感じられる仕事を選んでよいのだそうです。もう一度、私自身を振り返って考えようと思います!!



「論文の書き方」教室 * 1年生全員対象 体育館にて 平成28年11月2日、30日の「総合的な学習の時間」で実施

板谷大介教諭が戸田山和久著『論文の教室』（NHK出版）をテキストに、
知識構成型ジグソー法のアクティブ・ラーニングで実施。

■生徒の「論文をどう書くべきか」についての授業実施後の記述より

- ・できるだけ多くの情報を得て、参考にすること。←良い根拠を持つため。
- ・事実に基づき、論理的に書くこと。←意見と事実を分ける。偏った意見を持たない。
- ・自分の考えを整理してから書く。←方向性を決めてから書かないと、意見が二転三転して、筋の通った論文を書くことができないから。明確なアウトラインを作ってから書くようにする。
- ・多面的に書く。←様々な角度から書かないと、批判に柔軟に対応することができないから。常に批判を念頭に置くようにする。
- ・しっかりとした言葉遣いで書く。←いくら内容がしっかりしていても、言葉遣いが幼稚だったら、説得力のある文章にならないから。
- ・大きな問いから小さな問いにつなげて書く。←常に疑問を持つようにしないとだんだんと感想文と化していってしまうから。

事前にテキストを読むポイントとジグソー授業について確認する動画を閲覧させました **（反転学習）**



知識構成型ジグソー法の特長

- ▶ 従来のグループ学習のように「学習活動をしているふり」をする生徒がいなくなる。
- ▶ 話し合いに参加しない「お客さん」の生徒もいなくなる。
- ▶ 一部のリーダー性のある生徒がグループの意見をまとめて終わり、ということも起きない。
- ▶ 「活動あって学びなし」ということがない。
- ▶ どの教科、どの校種（小中高大）でも実施可能。
教科横断的な学習にも最適。
- ▶ 高校では“進学校”から“進路多様校”まで幅広く対応
- ▶ 「内職」「休眠」の生徒は当然皆無に。

本日お持ち帰りいただく資料

- ▶ 「ジグソー法による論文の書き方教室」の授業案、教材、振り返りシート
- ▶ 「ジグソー法による浦和一女、台北一女交流の古典の授業」教材、生徒の記入例
- ▶ 「ジグソー法による宮沢賢治『永訣の朝』の授業」* 2年生現代文で実施
授業案、教材、振り返りシート、「評価について」。

※知識構成型ジグソー法の詳細については

「COREF」「コレフ」で検索してください。

SGH全校講演会

* 全校生徒対象

平成28年11月16日(水) 14時00分~16時00分 体育館にて

株式会社ワーク・ライフバランス 大塚万紀子氏

■生徒の感想より

私はネガティブで、何でも後ろ向きに考えてしまうけど、大塚さんのようにポジティブに明るく考えることは大切だと感じた。高校生活は忙しく、なんでこんなにゆっくりできないんだろうとよく思ってしまいが、ポジティブに「暇よりも忙しいほうが毎日楽しい」と思えば、嫌なことがあってもそんなにストレスはたまらなそうだと思った。

男性の働き方が変わらないと日本の少子高齢化は変わらないという内容が一番印象に残った。 大塚さん自身、子

供ができたとき「なんで自分だけ働けないんだろう。」「何で男性は変わらず楽しく働けるんだろう。」と思ったというのを聞き、そんな世の中で子育てしたいと思わないのは当たり前だと思った。少子化が進むのは当然である。男性は仕事、女性は家庭で働くという古い考えをなくし、女性も男性と負けなくらい輝ける世界で私はこれから過ごしたい。

将来、男性という存在に負けず「女性だからできない」という偏見に打ち勝つためにこれから何でも積極的に攻めていきたい。

「モデル研究論文」実施の概要

- ▶ 「モデル研究」 ロールモデルとなるような女性を1人選び、その人物の生い立ち、業績、生き方、考え方などを調査研究し、レポートにまとめる。

クラス発表会を行い、
優秀レポートを選んだ。



ジェーン・アダムス	藤有里	石井桃子	高良とみ	吉田沙保里
レイチェル・カーソン	向井千秋	黒柳徹子	ミシェル・オバマ	ヒラリークリントン
渡辺和子	山口絵理子	あさのあつこ	林文子	小池百合子
マザーテレサ	クララ・シューマン	村岡花子	高橋尚子	宮崎和加子
中川季枝子	エリザベス・ブラックウェル	ヘレンケラー	襟川恵子	池田理代子
鳥飼玖美子	緒方貞子	平塚らいてう	大橋鎮子	鈴木恵理
マリー・キュリー	アウンサンスーチー	相馬黒光	渥美雅子	辻村みちよ
広岡浅子	栗山さやか	樋口一葉	ダイアナ元妃	山崎直子
マララユスフザイ	国谷裕子	井深八重	オードリーヘップバーン	勝村良子
J.K.ローリング	藤明里	末盛千枝子	川上貞奴	ザハ・ハディド
荻野吟子	上野千鶴子	緒方貞子	ベアテ・シロタ・ゴードン	玉城絵美
アンネ・フランク	小野節子	金澤翔子	吉岡弥生	西水美恵子
津田梅子	平松昌子	与謝野晶子	星野富子	M・オルブライト
中村紘子	いわさきちひろ	石岡瑛子	村岡花子	エマ・ワトソン
F・ナイチンゲール	マリア・フォン・トラップ	増井光子	大林素子	吉永小百合
香月日輪	黒柳徹子	根本貞路	ダイアン・フォッシー	キム・セジュン
ワンガリ・マータイ	村木厚子	香取美和子	羽仁もと子	湯浅年子
山崎直子	阿川佐和子	リーゼ・マイトナー	ガブリエル・ボヌール・シャネル	植木理恵
ココ・シャネル	アリソン・バルサム	小野節子	松谷みよ子	浅田真央
戸田奈津子	吉岡弥生	トリイ・ヘイデン	大平光代	瀬戸内寂聴
M・サッチャー	金藤理絵	いわさきちひろ	長谷川町子	山本美香
フジコ・ヘミング	金子みすゞ	中村桂子	山崎直子	長井鞠子
ジャンヌ・ダルク	向田麻衣	新島八重	パク・ヨンミ	黒崎信子
おおたわ史絵	澤穂希	山口直子	茨木のり子	井上あさひ
瀬谷ルミ子	下田歌子	松岡佑子	アン・サリバン	アンゲラ・メルケル
上橋菜穂子	萩原タケ	イーディス・ヘッド	西崎キク	中田正子

生徒が「モデル研究論文」の内容をもとに 「SGH成果発表会」でプレゼンをした際 の原稿より

Good afternoon! .Our topic is 'Ogino Ginko'. We will talk three points about her

.① '**Ogino Ginko**'. Who Ogino Ginko was.② When she became a doctor.③ Her activities after becoming a doctor.④ Summary

1.) First, I will talk about Ogino Ginko.

In 1851, she was born in Kumagaya, Saitama prefecture. She studied hard from her childhood and she was a very clever child. She thought that woman doctors are necessary in Japan because of her serious illness. After this, she survived many difficulties and became the first woman doctor in Japan.

2.) Second, I will talk about when she became a doctor.

At that time, there were a lot of barriers to becoming a woman doctor. Women were not allowed to go to medical school. Even so she never gave up on becoming a doctor. She was able to enter medical school thanks to her former teacher, but she was the only woman in the school. After that, she was finally allowed to take the examination to become a doctor .And 15 years after she started aiming at becoming a woman doctor, she became a first woman doctor.35 years had already passed since she was born. She had lived for more than half of her life.

3.) Third, I will talk about her activities after becoming a doctor.

In 1898, when her work had begun to go well, she was invited to make a woman's association. She named it 'Syukutoku Fuzinkai'. It means 'increasing women's elegant character'. Also it seems that she lectured about medicine, improvement of the status of women, and so on .She not only worked as a doctor but was also active in the woman's movement.

4.) In summary, we think she was able to work as a doctor and a woman campaigner / because she worked hard at everything.

From now on, we will think deeply how we should live every day. We want to become kind people who can always be considerate of others like her.

For that, first of all, we think it is important to have a dream even if it is small. Thank you for your kind attention. Do you have any questions?

S G 探究論文Ⅱ

生徒が、今までの講義や探究活動等をもとに、次のテーマのうち1つを選び、12月以降に各自で小論文を作成。

(1) 東京大学の女子学生の比率が増えない理由について論じなさい。

(ハーバード、スタンフォード、ケンブリッジなどの世界でもトップレベルにある大学の学生男女比はほぼ1：1なのに、なぜ、日本を代表する大学である東京大学の女子学生の比率は、2割足らずなのか)

(2) 日本の男女格差(WEF 「ジェンダー・ギャップ指数」)の改善について論じなさい。

**(3) 「私が国会議員になったら実現したいことー私たちが望む未来ー」
→但し、「女性学」に絡めた内容のもの。**

(4) その他、「未来の女性学」にかかわるテーマについて論じなさい

生徒の論文の例

Why is the gender ratio of The University of Tokyo not 1: 1?

H. O.

What is your impression of the female students of The University of Tokyo? I respect the name of the university, and at the same time feel nervous for its heavy name. The reaction of the world will be the same, too. Everyone respects The University of Tokyo. However why do not girls want to go to The University of Tokyo?

The University of Tokyo, Japan's highest peak. It is said that the ratio of males and female students in the world's leading universities such as Harvard University and Oxford University is almost one to one. In contrast, the proportion of female students at The University of Tokyo is only 18%. What exactly is this difference?

The percentage of female students at Hitotsubashi University, which is the same national university, is 25%. Rikkyo University 52%, Sophia University 50%, Gakushuin University 50%, Aoyama Gakuin University 49%, Waseda University 36%, Chuo University 35%, Keio University 34%, Meiji University 32%. Looking at these numbers, we can find the lack of girls at The University of Tokyo.

The other day, Fuji TV had a program, and they had interviews with some female students at The University of Tokyo and the main question was "Why are there fewer females students in this university?" Major answer was that they do not get into this university if they fail to enter it at the first try. Even they spend next whole one year preparing for entering The University of Tokyo, there is no guarantee of passing the test. A lot of the girl students also said that if they were likely to fail to pass the entrance examination of this university, they would rethink of the course in advance, and they would get into "easier" university than The University of Tokyo. Second major opinion was that people around them will be surprised when they hear the name of The University of Tokyo. Some girl students said that their friends left them once they mentioned their University name, so some of them cannot even mention the name of the university, some speak ambiguously by saying "The University in Tokyo". Furthermore there was an opinion that the society does not need girls with a high educational background. That is unreasonable: the students are not accurately valued after the graduation although they made efforts much more than others when they entered. It is widely known that men and women are regarded equal but this situation has not been realized in people's mind. Hearing about all those words, it is not strange that the female applicants of The University of Tokyo may be on the decline.

What countermeasures has the university taken? Actually they take a various measures in order to increase female students. They visited girls' high school and ask for students taking exams of The University of Tokyo. However, the number of female applicants did not increase. At The University of Tokyo, if parents' annual income is less than 4 million yen, all tuition fees are exempted for all students altogether. From next fiscal year, in order to increase girls' students, for 2 years they will support 30,000 yen of rent for girls living alone. With all these efforts, can they increase female applicants? It seems to me that money alone can solve the problem. I am afraid that this issue could end up with the doubt of discrimination against male students.

What we put a high value on is employment after graduation. The employment rate of The University of Tokyo is 30%, the rest are often going on to graduate school. As for female students, about half of them go on to graduate school. Some of them are determined to go on to graduate school, but in reality there are some who go on to graduate school because they could not find a job. What companies want job applicants to be equipped with is harmonious personality, not only a good career. A little while ago only scores in the university was highly evaluated by companies, and the students had confidence in academic scores. However, those students tend to poor at having communication with others, so quite a few students sometimes fail in the job interview. Entrance examination systems adopt some style of interviews and discussions in order to examine the applicants' character or humanity that were not shown in the paper tests. All these issues were broadcast on TV the other day, which will have a great influence on people. Also, while the employment rate of female students at The University of Tokyo is 30%, the employment rate of female students at Hitotsubashi University exceeds 70%. The difference in employment rate gives a big influence on students when they choose a university.

From the above, it seems that there are few girls wishing to go to The University of Tokyo.

海外派遣について

▶台湾フィールドワーク

(「SGHセミナー」の「台湾リサーチプログラム」参加者45の中の希望者約15名)

▶台湾修学旅行(2学年全員)

▶英国派遣

「台湾フィールドワーク」

・事前準備 「中国語の初歩」



「台湾フィールドワーク」

・台湾の現代史を現場で学ぶ



「台湾フィールドワーク」

- ・台湾の一般家庭を訪問



「台湾フィールドワーク」

- ・ 台北市立第一女子高級中学を訪問



「台湾フィールドワーク」

・台湾の女性についての講演



台湾修学旅行について

事前指導

- ▶ 12月の修学旅行に向けて、各クラスで年度当初より準備。
- ▶ 「台湾リサーチプロジェクト」に参加している45名は、10のグループがそれぞれのテーマに沿って台湾の研究を進めた。(詳細は次以降のスライド)
- ▶ 11月2日 講演会
埼玉大学准教授 近藤久洋先生
「台湾：変遷と日本との関係」

台湾修学旅行

■ 「台湾プロジェクト」 (大学交流／フィールドワーク)

- ▶ 45名の2年生が参加した「台湾プロジェクト」では、1年間をかけて台湾に関する研究を進めた。
- ▶ 9月以降は、現地大学生(台湾師範大学)とLINEなどを通じて連絡をとり、修学旅行時に行うフィールドワークの計画を立案した。

台湾修学旅行

■ 「台湾プロジェクト」

中国文化大学／輔仁大学での大学交流



輔仁大学日本語
学科を訪問。
日本の文化など
について
発表を行った。

台湾修学旅行

■ 「台湾プロジェクト」

台湾師範大学の学生とのフィールドワーク



6グループが
それぞれのテーマに
沿って
台北市内でフィールド
ワークを行った。

台湾修学旅行

■ 「台湾プロジェクト」

フィールドワークのテーマ

- 日本と台湾の若者文化の比較
- 子育てに優しい街づくり
- 働く女性と女性を支える社会のしくみ
- 日本と台湾の防災対策
- 10代女性のファッション・流行
- 英語教育と女性の社会進出

台湾修学旅行

12月中旬、2年生全員が修学旅行で台湾を訪問した。



台湾修学旅行

姉妹校の台北市立第一女子高級
中学を訪問し、交流した。



台湾修学旅行の生徒の感想より

空港に着いて外に出た時から、アジアな香りが漂っていた。親日国ということもあり、道行く人々がみんな優しくかった。気候は、天気予報では雨の予報だったが、雨は降ることなく、寒くもなく、暑くもなく、とても過ごしやすい気候だった。

初日に行った九份は、千と千尋の神隠しの世界観そのまま、とても素敵な所だった。ただ、臭豆腐の匂いがすごかった。駄菓子屋で買ったドライマンゴーが美味しかった。故宮博物院ではきれいな飾り物や白菜を見ることができた。忠烈祠では見た目(私にとっては)少し怖い兵隊さんが長い道をまばたきを1回もまばたきをせずに行進しているのを見て、感動した。龍山寺では、日本とはまた違った神社の雰囲気新鮮だった。おみくじも日本とは違ったシステムで面白かった。

全体的に異文化を感じることができ、充実した4日間を過ごすことができた。

B & Sと一緒に回った女性は、とても良い方で、台湾の色々な文化やおすすめスポット、グルメなどを教えていただいた。午前中に行った総督府では、中を見学することができ、感動した。昼食で食べた牛肉麺は、私には少し合わなかったが、かき氷やタピオカはとても美味しかった。

台北第一女子高級中学での交流で、私は部活動体験でデザートクラブの生徒と一緒にピザを作った。作りながら、北一女の生徒の皆さんとたくさんお話しすることができ、とても良い探究ができた。今でもLINEを通して連絡をとっており、絆が続いている。

英国姉妹校プログラム

Oxford大学 Hertford College

James Allen's Girls' School

平成29年3月22日（水）～31日（金）

20名（高校 **1** 年生）

イギリス研修の目的

- (1) S G Hリサーチプロジェクト
- (2) 異文化理解・グローバル
- (3) 同年代の高校生との交流
- (4) 進路を考える機会

オックスフォード大学での研修

▶ フィールドワーク

～ オックスフォード大学生 ～

① Literature in Oxford

② Science in Oxford

③ The Arts in Oxford

④ Women in Oxford

▶ プレゼンテーション

イギリスの名門女子校との交流

▶ 名門女子校の授業体験

▶ ホームステイ



事後指導

▶ 台湾 F W

→ 修学旅行のための予備探究。
レポートを作成。

▶ 台湾修学旅行

→ ポスター等を作成、発表。

▶ 英国派遣

→ 参加生徒（20名）が現在レポート等を作成中。



台湾リサーチプロジェクト

- ▶ 2学年の希望者45名が活動
毎週火曜日にミーティングを実施。
 - ・台湾師範大学などと提携、共同研究
 - ・台北第一女子高級中学の本校訪問
 - ・台湾版「Cross Cultural Talk」
 - ・希望者は台湾FWへ（前述）

「台湾リサーチプロジェクト」

・台湾の現地大学との提携

- ▶ 台湾大学・輔仁大学・台湾師範大学と提携。
- ▶ 現地大学生と連絡を取り合い準備を進める。
- ▶ 修学旅行では、フィールドワークやディスカッションなどを行う。

「台湾リサーチプロジェクト」

- ・ 台北第一女子高級中学の本校訪問
(5月)

知識構成型ジグソー法による
両校生徒の対話を実施。

※教材等は、本日お持ちい
ただく資料をご覧ください。



「台湾リサーチプロジェクト」

- ・台湾版Cross Cultural Talk



Cross Cultural Talk

筑波大学の留学生

1 1 名

一女生

5 1 名



アルゼンチン

イギリス

イタリア

バングラデシュ

ベラルーシ

インド

オランダ

クロアチア

スペイン

ロシア

レバノン

▶ Session1

～ 留学生からみた日本 ～



▶ Session2

～ Women in the World ～



▶ 英語プレゼンテーション

「Cross Cultural Talk」 本校の生徒のプレゼン（抜粋）

Presentation Summaries: Cross Cultural Talk 2016

Bangladesh

We are going to talk about the problems for women working in Bangladesh. **Women have to tolerate physically hard jobs and harassment. “Physically hard job” means working in a factory. Harassment means sexual harassment. It is found everywhere. In Bangladesh, working conditions aren’t good, they are much worse than in Japan.** We hope the problems working women face, such as sexual harassment or a lack of child care center, will be improved all over the world.

Lebanon

I will tell you something about the social position of women in Lebanon. I think you will be surprised to see that Lebanese women are active in society. At home mothers and grandmothers are really strong in Lebanon so children can **never say “no” to mothers. Women are respected in Lebanese society. With a view to religion, there are 18 different religious groups in Lebanon.** They’re getting along well. This is because, historically Muslims and Christians have cooperated and supported each other. There are many liberal people in Lebanon, and I think this way of thinking is important.

■ 新国立劇場で團伊玖磨の歌劇「夕鶴」 を鑑賞（7月12日）

参加生徒：71名



■ 歌舞伎鑑賞教室

平成28年12月10日（土）

国立劇場（千代田区）にて、
松本幸四郎をはじめとした豪華
キャストで、同劇場が

開場50周年記念事業として開催し
た、「仮名手本忠臣蔵」八段目、
九段目、十段目、十一段目を、希
望生徒14名で鑑賞。

IC-Netとの連携による ビジネスコンテスト参加 (参加の7名の生徒がビジネスモデルを作成)

▶ 参加生徒が作成したビジネスアイデアのメモ

E-POC

→ Excavate - Possibility of Children

< ミッションステートメント >

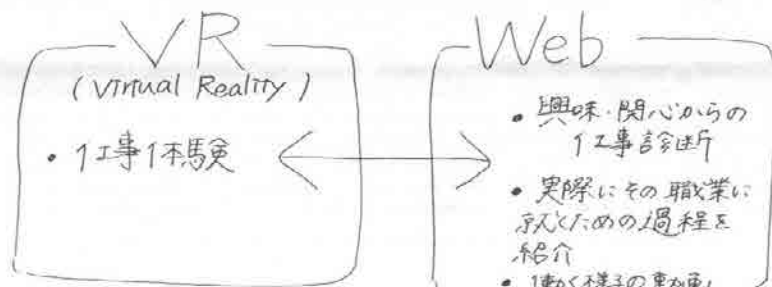
“ One child has an infinite possibility ”

We excavate new possibility from children and promote world development .

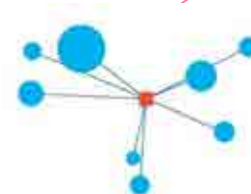
本社のE-POCは... 7~10歳の子どもたちに、

子供たちの可能性を見つけ出す場所と未来と自分の力で作り、それに向かっている方法・手段を提供します。

その革新的手段として... 「1仕事1体験ゲーム」を作ります。



また、これは車や移動しながら各地を言われます。さらに、VRで職業体験をするポイントの獲得です。お菓子や文具と交換が可能です。



IC Net Limited
アイ・シー・ネット株式会社

トップアスリートによるSGHセミナー

12月22日(木)13時30分~16時35分

*本校グラウンド・体育館にて

- 参加生徒は、ソフトボール部員30名、陸上部員25名、空手部員15名、バスケットボール部員17名、一般参加生徒1,2年生13名。
- 以下の、世界的なトップアスリートが本校生徒に直接技術指導、また、「グローバルに戦うこと」などについて講義。
 - ▶ 染谷香予選手
(空手道、世界選手権金メダリスト、東京五輪最有力候補選手。68kg級。)
 - ▶ 大家涼子選手
(女子ホッケー日本代表「さくらジャパン」GK)
*大塚選手とともに駿河台大学の7名の女子ホッケー選手が来校。
 - ▶ 六角彩子選手
(女子侍ジャパン。第4回ワールドカップ出場、首位打者になる。
2010年国際野球連盟、年間MVP。)
 - ▶ 柏倉秀徳さん(元日本代表、元NBLプレイヤー。現筑波大学女子バスケットボール部コーチ)
 - ▶ 門脇正法さん(スポーツライター、大妻女子大学客員講師) オープニング等のモデレーター



教科連携・校外学習

国語科 1年生対象「新書レポート」 (年5回)のうち1回を「女性学」に

生徒のレポートより

■書籍名 伊波園子著『ひめゆりの沖縄戦 ―少女は嵐の中を生きた』(岩波ジュニア新書)

■本の概要(要約)

日本本土で唯一の地上戦が行われた沖縄戦において、傷病兵の看護、壕掘りといった作業を行った“ひめゆり隊”。それらの作業は彼女たちを死の危険にさらしていた。“ひめゆり隊”であった生存者の方の証言をもとに当時の様子が生々しく描かれている。教師を目指し勉学に励んでいた**12歳～19歳の少女たちは**、軍国主義的皇国民の理念のもと、軍看護隊として動員され、**過酷な状況の中を懸命に生きていった**のである。

■意見

私は、“女性”という生き物は、この時代から強いものであったと思います。今や女性が第一線で働くのはめずらしいことではありません。しかし、今のようになったのは、つい最近であり、それまでは男性が上、女性が下という構図ができていたように思います。「ひめゆりの沖縄戦」を読み、より一層そのような構図ができていくことへの疑問がわきました。ひめゆり隊の多くは12歳～19歳の少女であったにも関わらず、傷病兵の看護に尽力しました。彼女たちの精神力には驚かされます。どんなに死の危険にさらされ「死んでしまったらどれだけ楽か」という誘惑が頭によぎっても決して死を選択せず「生きる」道を選ぶのです。そして、どんなに過酷な状況におかれようと精一杯看護に努めるのです。女性の陰での支えなしに沖縄戦は成立しなかったであろうと思います。この時代、学校に通う女学生でさえ、いざという時に備え、銃剣術の訓練をさせられたといえます。今の私達と同じくらいの年の女の子がこれらを経験したと思うととても信じられませんが、それが現実としてあったということにとってもショックを受けます。

沖縄戦のみならず歴史上の戦争において、陰ながらも日本を支えていたのは他でもなく女性たちです。そんな歴史があるからこそ、男女間の上下というものがなくなりつつあるのも、そういった理由も1つとして考えられると思います。いずれにしても、「戦争の悲劇は二度と繰り返してはいけない。そして語り継いでいかなければならない」と著者はこの本に記しています。そういった言葉に私たちは耳を傾け、さらに男女差別のないよりよい日本をつくっていかなければならないのだ。

地歴公民科 模擬知事選を実施

・夏休みの宿題として、全員が

①地方経済の活性化策、②埼玉県教育の改革案、③女性の社会的地位向上策の取り組みの三つの柱について知事立候補者として具体策を考えてくる。

・夏休み明け第1回目に、全員が考えてきた方策について発表する。

・全員発表後、4～7人で政党を結成させ、党名・選挙公約・党首を決定。クラス内の知事選挙の準備をさせる。
・11月に、クラス内で模擬知事選挙を実施。党首同士での討論、党首とフロアの討論を行った後、投票してクラス代表を決定する。

・1月11日の本選挙で、全てのクラス代表が政策発表し、投票する。

この一連の流れの中で、女性の社会的地位向上策や女性の社会進出を支え促すための方策を考察させている。

■以下、生徒の考察した女性の社会的地位向上策例より。

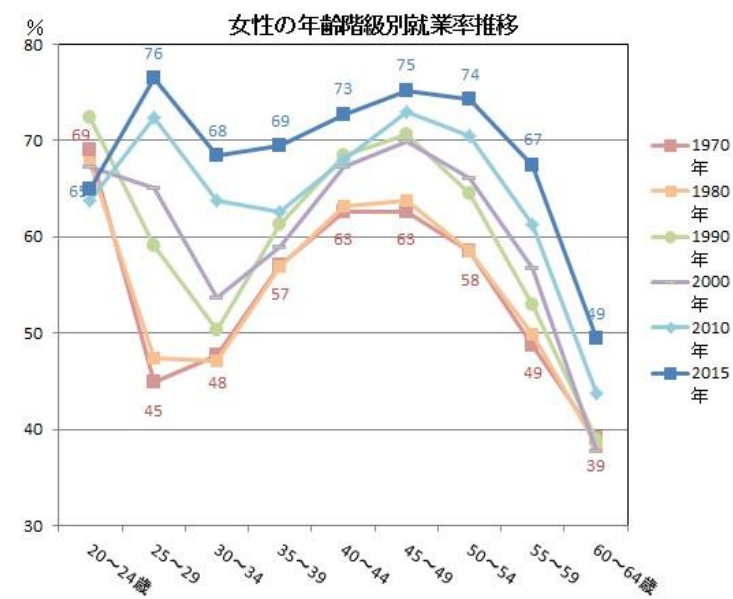
○子育て支援をする。

・埼玉県では女親と子供で暮らしている世帯が増加している。そこでそのような女性の方に子育てを支援する必要があると考えた。また、共働きをしている家庭も同じ。

① 子供が幼稚園などに入る年齢を満たしていない場合、その女親は育児休暇を取ることが出来、県から支援金をもらえる（育児休業期間の延長）。

② また、子供がある程度大きくなり、その女親が働くことが可能であれば、子供と一緒に会社へ行き、会社は託児施設を備えて、子供が親の終業をそこで待つことができる場を設ける（企業への保育施設設置の義務づけ）。

③ さらに、そのような女性に夜遅くまで残業させることを禁止し、定時を大きく超えない頃に仕事から上がれるように義務づける。男性も同様。



英語科 「英語スピーチコンテスト」

▶ 今年の「スピコン」の様子



英語スピーチコンテストの生徒の原稿（例）

Because I am a girl

M. I.

I was on my home when I stumbled across a poster at the station that caught my attention and had me thinking about it until today. **This wasn't just any poster about energy drinks, shopping discounts or any other advertisements, this was far bigger than that for it stated words which had caught not only my eyes but also my heart. "I got married at 13 years old" and "I gave birth at 14 years old"** were the words stated on the poster which showed a picture of young girls carrying their own children. When I got home, out of curiosity, I immediately turned on the computer and researched about the poster I saw and that was when I realized that this has to be heard.

And because I'm a girl I will speak on behalf of those young children of today that are left unheard. For those girls who are forced to marry in their teenage years, I will cry with you, for those girls who are prohibited from receiving proper education, I will protest with you and for those girls whose lives became a survival game in which they can never win, I will fight with you.

Globally there are innocent girls that are being denied education by the daily realities of poverty, violence and discrimination. **I look at what's happening to young girls around the world and I can see how lucky I am to be able to do what I want, study if I want to, eat whatever it is that I like and marry who I want to marry, hence I cannot stop wishing the same for those girls the same age as me who are probably trying on their traditional gowns or even giving birth to their first born at this very moment.**

This reminds me of the youngest Nobel Prize Laureate, Malala Yousafzai. She is a 17 years old Pakistani activist for female education who was shot by Taliban policemen in the forehead which she miraculously survived and continued to fight for education, for **women and children's rights. Unfortunately according to recent news it was revealed that eight of the ten men who unanimously** agreed to kill her had in fact been declared innocent. I wonder what the criteria for justice are exactly now a days, is there no justice left for women?

I also remember what Malala Yousafzai said during the youth take over event at the United Nations, that there should be no bullet nor terrorist who can change our aims neither should it stop us and our ambitions of changing the world. And that if there is anything we should change may it be our weakness, fear and hopelessness and let strength, power and courage be born!

I truly admire her for not giving up on her advocacy and even turning that one life-threatening experience into a life-changing one. There are many countries which have overcome sex discrimination, unjust rights for women, brutality and violence therefore I believe that it is not impossible to make every country in this world a better place to live in whether for men or women. Just like what Malala Yousafzai said **"One child, one teacher, one pen and one book can change the world."** Education is the only solution. **And given a chance, because I'm a girl I, believe I, We girls can change the world too.**

校外学習（遠足） 平成28年12月16日（金）

4～7名のグループでの東京都内における遠足の一環として、希望するグループが午前中の1、2時間程度、**各国大使館・文化施設**を訪問し、先方の方に各国の文化について、特に「女性学」等に関する話題についてインタビューを行った。訪問した大使館・施設および訪問した生徒数は以下の通り。

カナダ大使館（東京都港区）24名

韓国大使館附属文化院（東京都新宿区）17名

スペイン国営セルバンテス文化センター（東京都千代田区）25名

東京ジャーミイ（トルコ大使館附属モスク・トルコ文化センター）15名

東京ドイツ文化センター（東京都港区）15

*セルバンテス文化センターおよび東京ドイツ文化センターではそれぞれ簡単なスペイン語教室、ドイツ語教室も実施していただいた。

■トルコ大使館附属モスクでお話を伺う生徒達→



その他

- ▶ 「S G探究の時間Ⅱ」の状況（「探究グループ活動」について） ※資料をごらんください。
- ▶ 今後の課題
 - 1年「守」：一女生としての基礎基本、「型」を身につける
 - 2年「破」：**「一女生としての型」を礎に、自分の可能性を追求する**
 - 3年「離」：今までの学びをもとに、自分の力で走り出す

成果と課題

■成果

- ▶ 2本の論文作成で女性グローバルリーダーへの素地、高い志が形成された。
- ▶ ジグソー法などで主体的な学習姿勢が身についた（**受け身の学習姿勢からの脱却**）。
学び合い、教え合う文化の醸成。
- ▶ S Gプログラムを進路指導と有機的に連携。
 - 難関大学合格に必要な「広い視野」「高い視座」「タフな心」を涵養。
質の高い思考力、判断力、表現力も身につきつつある。
 - 旧帝大等、難関大学への志望者増加、成績も向上。「大学に入ればよし」としない精神
- ▶ 他国の学生とのセミナー、海外経験等を通じグローバルな視野を体得。

■課題

- ▶ 上記の生徒の変容は教師の観察などによる。
- ▶ 客観的な数値でのプログラムの成果測定→現在ルーブリックによる生徒自己評価表を作成。